

校長室の窓から

兵庫県立三木高等学校長 前田 哲男

No.6 H30.2.20.

本校の国際総合科がスタートして以来長い間準備を進めていた、ロサンゼルスへの海外研修を1月に行いました。今回は、その海外研修について、少しお伝えしたいと思います。

今回が初めての行事であり、学校としても緊張感を持って準備を進めてきました。ロサンゼルスという研修地を設定したのは、1月でも積極的に交流できる温かい気候と、すでにオーストラリアとの交流を行っていることから、別の国を目的地にしたかった等の理由があります。

このような理由のもと、国際総合科1期生全員が、6日間の海外研修に参加しました。ロスの初日の最高気温はなんと29度でした。到着直後は、サンタモニカ、UCLA、ハリウッド等の観光を行いました。テレビで見る風景を実際に見、生徒たちも興奮気味でした。



UCLA キャンパス

研修の最も大きな要素は、ホームステイです。今回のホームステイは、生徒1名につき1家庭ということにこだわりました。生徒たちは大変不安そうな表情を見せながらも、次第にホストファミリーと打ち解け、ホームステイが終わる時には、自分一人でやりきった表情と、別れを惜しむ表情が入り交じった表情をしていました。ホストファミリーの皆様、本当にありがとうございました。

もう一つの大きなイベントが、現地高校生との交流です。交流校は、大谷翔平選手が移籍することとなったエンジェルスの本拠地であるアナハイム市にあるセリトス高校です。午前中は生徒一人につきバディとなる生徒がついてくれ、それぞれのバディの授業に参加しました。そして午後には、本校生徒が準備してきた三木高校や、三木市のことについてのプレゼンテーションを約1時間、生徒全員でやりきりました。セリトス高校の生徒たちも喜んでくれ、お別れの時には、たくさんの生徒が長い間バスを見送ってくれました。セリトス高校の皆様にお礼を申し上げます。



セリトス高校での記念写真

三木高校は、国際総合科の海外研修を、本校の特色ある行事として、さらに充実してまいります。